

第6回全校音楽～響き合う5・6年生の演奏

11月7日(火)に第6回全校音楽を行いました。「三省まつり」以来の全校音楽でした。今回のめあては、次の2つでした。

- ①5・6年生の歌と合奏を味わって聴こう
- ②全校の友達と声を合わせて歌おう。

はじめに5・6年生の発表があり、歌「待ちぼうけ」と合奏「キリマンジャロ」の演奏を響かせてくれました。「待ちぼうけ」は、北原白秋作詞、山田耕筰作曲の日本を代表する唱歌です。演奏に先立って、作詞家、作曲家の紹介がありました。歌詞の説明の際には、「まじめに働くことって、大事なんだなあ。」と改めて考えさせられました。また、「キリマンジャロは、アフリカ大陸で最も高い標高5895メートルの山です。」という説明があり、この山の雄大さが、この曲の迫力に表されているんだなあと感じました。子どもたちは、次のような振り返りをしていました。



- ぼくは、「キリマンジャロ」を演奏して、みんなと息を合わせた合奏ができたのでよかったです。「待ちぼうけ」では、高い声を出して歌えたのでよかったです。(6年 C.)
- ぼくは、「待ちぼうけ」や「キリマンジャロ」で、みんなと息を合わせられたのでよかったです。(6年 H.)
- リコーダーと鍵盤ハーモニカが合っていて、キリマンジャロの山のイメージが表されているなあと感じました。(4年 S.)
- 「キリマンジャロ」の繰り返しのところが、きれいでいいなあと思いました。(4年 K.)
- 「待ちぼうけ」のお話が、歌になって表されているなあと感じました。(4年 T.)

集会の最後には、上学年と下学年が向かい合って「思いやりの歌」と「怪獣のバラード」を歌いました。お互いの声のよさを聞き合いながら、歌声を響かせることができました。次回の全校音楽は、12月14日(木)の3校時、「ミニコンサート」を行う予定です。小グループや個人で演奏を発表します。ご都合の付く方は、ぜひ学校においでになり、子どもたちの演奏をお聴きいただきたいと思います。お待ちしております。(当初は12月13日の予定でしたが、校内事情により変更になりました。)



「キリマンジャロ」の迫力が伝わってくる演奏でした



笑顔で向き合って歌いました

